

平成29年度 西区あんしん見守り シンポジウム

「つながりのある安心感」 ～まちでささえる見守り活動～



第1部

午前10時30分～11時25分

【基調講演】

「つながりのある安心感」

～まちでささえる見守り活動～

講師：**鈴木 大介氏**

(甲南女子大学 人間科学部 総合子ども学科 准教授)

第2部

午前11時30分～12時20分

パネルディスカッション

～見守り活動から見てきた地域の現状とこれから～

【コーディネーター】

鈴木 大介氏

パネリスト

- 韮地域見守りコーディネーター
- 民生委員児童委員 明治地区委員長
- 九条北地域見守りコーディネーター
- 西区保健福祉センター
- 見守り支援ネットワーク

入場無料
定員200名

手話通訳
あります。

- 山形 育子氏
- 宮部 久子氏
- 斉藤 和美氏
- 中山 久美子氏
- 松本 紗弥香氏

開催日時

平成**29**年**10**月**2**日(月)

<受付> 午前10時～

<時間> 午前10時30分～12時20分

会場

西区民センター 1階ホール

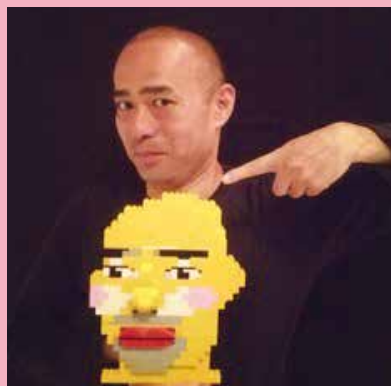
共催

社会福祉法人
大阪市西区社会福祉協議会
大阪市西区役所

ご来場
先着200名
に記念品を
進呈します。



基調講演「つながりのある安心感」～まちでささえる見守り活動～



【講師・コーディネーター】
鈴木 大介 氏

甲南女子大学 人間科学部 総合子ども学科 准教授。
専門は地域福祉。中でも、小地域福祉活動や、地域福祉計画、福祉のまちづくりなどを主たる研究テーマとしている。
最近の学会研究活動としては「小地域活動における活動主体別にみた新たな人材の主体的な参画及び育成の視点」などがある。

【講師より】

レゴブロックは、大きさも形も色も違う数々のブロックが集まり、それぞれの持ち場で自分を発揮しあって1つの作品を作っています。僕の顔をあしらったレゴ作品はまさにそうです。

私たちの目指すささえあいの町も同じ側面があり、それぞれ規模も形態も特色も違う多くの主体があつまり、それぞれの力を発揮しながら(連携協働しながら)、ささえあいの町(誰もが排除されることのない住みよい町)を作っていきます。

地域での見守り活動と見守り相談室について

見守り相談室では行政と地域が把握する要援護者情報を集約し、地域との情報共有についてご本人同意の確認と名簿の作成をしています。同意返信の方へは各地域にお住いの見守り員の皆さんが定期的に訪問や電話で見守り活動を行っています。また、未回答の方へ向け、相談室より随時訪問も行っています。



こちらの
ピンクの封筒で
お送りします。

見守り対象者は下記の通りです

- ・ 高齢者(要介護3～5、要介護2以下で
認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の方)
- ・ 身体障がい者[1・2級]
- ・ 知的障がい者[A]
- ・ 精神障がい者[1級]
- ・ 視覚障がい・聴覚障がい[3・4級]
- ・ 音声・言語機能障がい[3級]
- ・ 肢体不自由(下肢・体幹機能障がい)[3級]
- ・ 難病をお持ちの方

送付物

- ①返信用封筒
- ②同意書
- ③大阪市からのお知らせ

【開催場所】

西区民センター

大阪市西区北堀江4-2-7 電話:06-6531-1400

【最寄り駅】

大阪市営地下鉄 千日前線・長堀鶴見緑地線
「西長堀駅」下車3番出口

お問い合わせ

大阪市西区社会福祉協議会

【見守り相談室】

大阪市西区新町4-5-14 西区役所合同庁舎6階

電話:06-6539-8075

メール:mimamori@nishi-fukushi.or.jp

